

花巻信用金庫の地域経済活性化への取組みについて

当金庫は、花巻市、遠野市を中心とした地域を事業区域として、地元の中小企業者や住民が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

地元のお客様からお預かりした大切な資金（預金積金）は、地元で資金を必要とするお客様に融資を行って、事業の繁栄や生活の向

上のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業や住民との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の発展に継続して努めております。また、金融機能の提供にとどまらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。

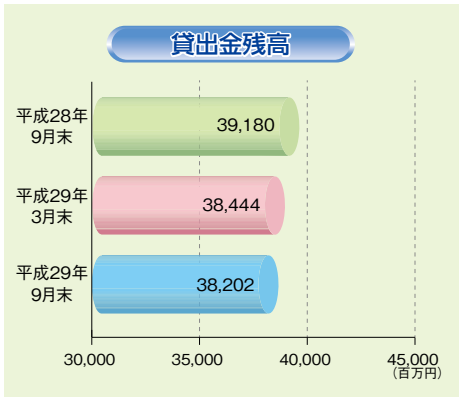
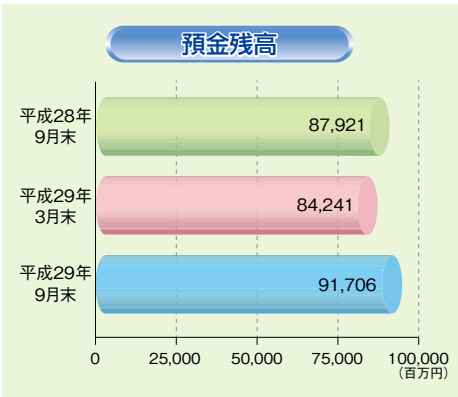
預金、貸出金の状況

(単位:百万円)

区 分	平成28年9月末	平成29年3月末	平成29年9月末
預 金 残 高(未残)	87,921	84,241	91,706
貸出金残高(未残)	39,180	38,444	38,202

預金積金は、個人預金、法人預金及び公金預金増加により、平成29年9月末残高は前期比7,465百万円(8.86%)増加し、91,706百万円となりました。

貸出金は、地公体向け融資等の減少により、平成29年9月末残高は前期比242百万円(0.63%)減少し、38,202百万円となりました。



貸出金業種別内訳

一部の大口先や特定の業種に偏ることなく、中小企業や個人のお客様など、幅広く地域の皆様にご利用いただいております。

(単位:百万円、構成比:%)

	平成28年9月期			平成29年3月期			平成29年9月期		
	貸出先数	貸出金残高	構成比	貸出先数	貸出金残高	構成比	貸出先数	貸出金残高	構成比
製 造 業	83	4,641	11.8	80	4,814	12.52	78	4,967	13.00
農 業、林 業	14	85	0.2	14	90	0.23	12	85	0.22
漁 業	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	1	24	0.1	1	21	0.05	2	24	0.06
建 設 業	113	4,863	12.4	109	4,798	12.48	110	4,769	12.48
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—	1	26	0.06	3	52	0.13
情 報 通 信 業	—	—	—	—	—	—	—	—	—
運 輸 業、郵 便 業	15	549	1.4	15	475	1.23	17	625	1.63
卸 売 業、小 売 業	145	4,306	11.0	142	4,294	11.16	144	4,353	11.39
金 融 業、保 険 業	2	1,475	3.8	2	1,272	3.30	2	1,271	3.32
不 動 産 業	59	3,668	9.4	59	3,483	9.05	57	3,591	9.40
物 品 賃 貸 業	5	368	0.9	5	320	0.83	5	255	0.66
学術研究、専門・技術サービス業	11	56	0.1	13	74	0.19	13	80	0.20
宿 泊 業	16	2,725	7.0	16	2,648	6.88	14	2,492	6.52
飲 食 業	60	1,116	2.8	63	1,300	3.38	64	1,254	3.28
生活関連サービス業、娯楽業	29	1,222	3.1	31	1,181	3.07	31	1,074	2.81
教 育、学 習 支 援 業	2	18	0.0	2	34	0.08	2	33	0.08
医 療、福 祉	19	554	1.4	17	481	1.25	17	451	1.18
そ の 他 の サ ー ビ ス	56	616	1.6	58	636	1.65	60	641	1.67
小 計	630	26,292	67.1	628	25,956	67.51	631	26,025	68.12
地 方 公 共 団 体	4	5,835	14.9	4	5,499	14.30	4	5,384	14.09
個 人	3,288	7,052	18.0	3,218	6,989	18.17	3,116	6,793	17.78
合 計	3,922	39,180	100.0	3,850	38,444	100.00	3,751	38,202	100.00

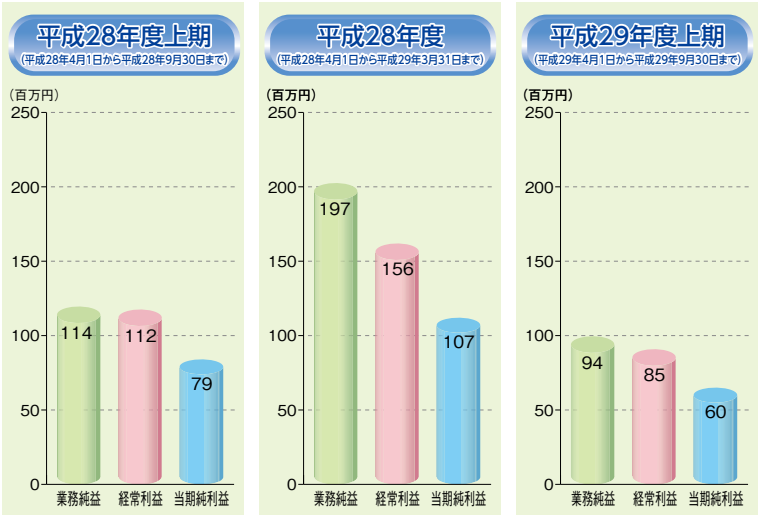
(注)業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

損益の状況

(単位:百万円)

区 分	平成28年9月末	平成29年3月末	平成29年9月末
業 務 純 益	114	197	94
経 常 利 益	112	156	85
当期純利益	79	107	60

資金運用収益の減少等により、業務純益は前年同月比20百万円(17.47%)減少し94百万円、当期純利益は前年同月比18百万円(23.12%)減少し60百万円となりました。



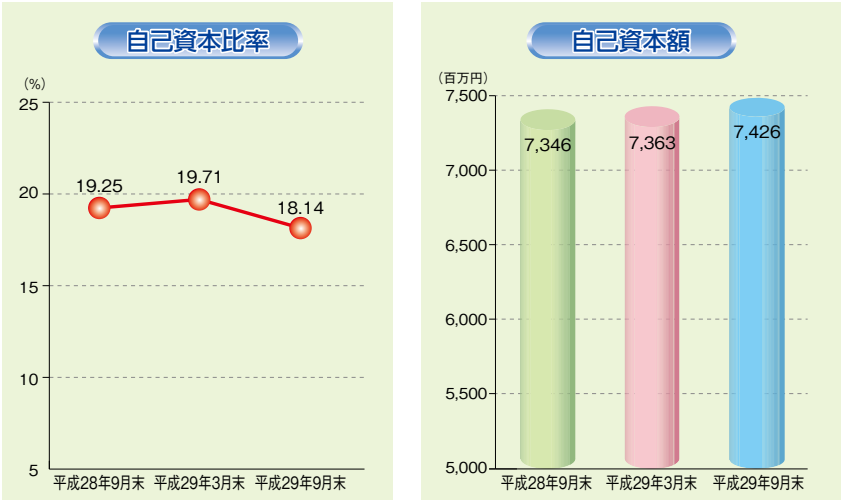
自己資本の状況

自己資本比率 18.14%

自己資本額 74億26百万円

自己資本は経営の基盤であり、自己資本が充実しているほど経営の安全性が高いとされております。金融機関の健全性及び安全度を示す自己資本比率の国内基準は4%以上であり、当金庫の自己資本比率は国内基準を大きく上回る18.14%であります。

なお、平成29年9月期は平成29年3月期に比較し、自己資本額は増加しましたが、預け金等リスクアセットの増加により自己資本比率は1.57ポイント低下しております。



自己資本の構成状況

(単位:百万円)

項 目	平成28年9月期	経過措置による不算入額	平成29年3月期	経過措置による不算入額	平成29年9月期	経過措置による不算入額
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	7,303		7,325		7,386	
うち、出資金及び資本剰余金の額	221		221		221	
うち、利益剰余金の額	7,081		7,110		7,164	
うち、外部流出予定額(△)	—		6		—	
うち、上記以外に該当するものの額	—		—		—	
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	44		38		40	
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	44		38		40	
コア資本に係る基礎項目の額(イ)	7,347		7,363		7,426	
コア資本に係る調整項目の額(ロ)	0		0		0	
自己資本の額((イ)-(ロ))(ハ)	7,346		7,363		7,426	
リスク・アセット等の額の合計額(ニ)	38,154		37,353		40,931	
自己資本比率((ハ)/(ニ))	19.25%		19.71%		18.14%	

信用リスク及びオペレーショナル・リスクの所要自己資本の額

(単位:百万円)

項 目	平成28年9月期		平成29年3月期		平成29年9月期	
	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額
イ. 信用リスク・アセット、所要自己資本の額の合計	35,783	1,431	34,966	1,398	38,545	1,541
ロ. オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額	2,371	94	2,386	95	2,386	95
ハ. 単体総所要自己資本額(イ+ロ)	38,154	1,526	37,353	1,494	40,931	1,637

有価証券の状況

安全性と流動性に十分配慮しつつ、安定的な収益確保のため、分散投資による効率的な運用を行っております。

満期保有目的の債券

該当ございません。

その他有価証券

(単位：百万円)

		平成29年3月期			平成29年9月期		
		貸借対照表計上額	取得原価	差 額	貸借対照表計上額	取得原価	差 額
貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの	株 式	56	43	12	59	43	16
	債 券	10,414	10,026	387	8,359	8,015	343
	国 債	1,590	1,515	74	445	403	42
	地 方 債	1,937	1,810	127	1,539	1,409	130
	社 債	6,886	6,700	185	6,373	6,202	170
	そ の 他	1,661	1,463	197	2,167	1,963	203
	小 計	12,131	11,533	597	10,585	10,022	563
貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの	株 式	7	10	△ 2	8	10	△ 2
	債 券	2,264	2,371	△ 107	3,610	3,691	△ 81
	国 債	764	799	△ 34	1,179	1,201	△ 22
	地 方 債	556	599	△ 43	566	599	△ 33
	社 債	943	972	△ 29	1,864	1,890	△ 25
	そ の 他	3,674	3,905	△ 231	3,540	3,804	△ 263
	小 計	5,946	6,287	△ 341	7,158	7,506	△ 347
合 計		18,077	17,820	256	17,744	17,528	215

(注) 1. 貸借対照表計上額は、9月末日における市場価格等に基づいております。 2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券

(単位：百万円)

		平成29年3月期	平成29年9月期
		貸借対照表計上額	貸借対照表計上額
子会社・子法人等株式及び関連法人等株式	子 会 社 株 式	10	10
その他有価証券	非 上 場 株 式	25	25
	組 合 出 資 金	2	1

不良債権の状況

平成29年9月期における金融再生法上の不良債権の合計額は、2,302百万円で、総与信に占める割合は、5.96% (平成29年3月期5.93%) であります。

1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
3. 「要管理債権」とは、「3カ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金をいいます。平成29年9月期は該当ございません。
4. 「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権をいいます。

金融再生法に基づく開示債権の状況

